

【委員意見】

No.	意見の内容	意見についての考え方
1	《これまでの行政改革の取組》 これまでの行政改革の成果分析が不十分である。 今後の必要性につながる部分なので、分析結果の記述が必要ではないか。	ご指摘のとおり行政改革の成果分析を行い、今後の必要性につながる記述に修正していきます。
2	《目標と方針》 行政改革をしなければならないという市の決意が文章から伝わってこない。	行政改革の必要性等の記載内容については検討いたします。
3	《目標と方針》 5年間で10億円削減しなければならない根拠がわからない。算定根拠を説明すべきではないか。	社会保障関係費が毎年度一般財源ベースで少なくとも2.5億円増加することが見込まれることを根拠とした記載に変更しました。
4	《歳入増につながる施策の創出、強化》 大綱にはソフト面の整備ばかり記述されているが、豊かなまちづくりを目指すには、ソフト面も重要だがハード面の整備も必要だろう。	ソフト面だけではなく、ハード面の必要性についても導入部分に記載いたしました。
5	《歳入増につながる施策の創出、強化》 唐突に具体的な内容の記述で始まるのはわかりにくいため、必要性についての記述をもう少し追加していただきたい。	施策の創出、強化の必要性を始めに記載し、具体的な取組については、【主な取組項目】に記載するように調整します。 今後、行動計画を策定していくにあたり、5つの取組方針間で整合性を図りながら、内容の修正を行います。
6	《歳入増につながる施策の創出、強化》 記述している項目が、そのまま【主な取組項目】として記述することになると思う。始めの導入部分を追加し、【主な取組項目】に具体的な項目を記述するといいいのではないか。	
7	《ファシリティマネジメントの推進》 今までにない行政改革の目玉はファシリティマネジメントの推進である。必要性などもっとしっかりと記述する必要があるのではないか。	大綱全体の記載内容について、再度検討いたします。

【職員意見】

No.	意見の内容	意見についての考え方
1	《平成24年3月策定行政改革大綱 後期行動計画における成果と課題》 「成果が得られなかった原因を分析し、今後の取組や施策につなげていく必要がある。」と記載されているが、どのように分析して、どう取り組んでいるかの記載がどこかで必要ではないか。	「前行政改革大綱の取組を踏まえた課題」のところで、D評価であったものについての課題を分析し、今後の取組につなげていく旨の記載を追加しました。
2	《市民満足度調査のまとめ》 「市政への市民意向の反映度、各施策の進捗実感が上昇している。一方で、市政への関心が低下し、市民の役割分担の取組が低下している」の表がないため、上昇しているのか、低下しているのかわからない。	「市民満足度調査」と「前行政改革大綱 後期行動計画の取組」を1つのまとめとして記載し、根拠資料を掲載していない記載については、記載を変更しました。
3	《目標と方針》 大綱に柱となる数値目標を定め、それに向かって取組を進めていく方が、具体性、実効性が出せるのではないか。	「第5 取組方針」の「1 健全な財政基盤の確立」で、5年間で10億円の経費の削減を目指すとして記載しているが、「第3 目標と方針」のところに数値目標を記載します。

4	<p>《目標と方針》 根拠に基づく政策づくりをもっと強調していいのではないか。このままでは、総計や他の計画に埋没してしまいかねない。持続可能な行財政運営を行うため絶対この大綱を実行しなければならないような、強い意思表示が必要と感じる。もっと金額等の具体的な記述がほしい。</p>	
5	<p>《歳入増につながる施策の創出、強化》 歳入増につながる施策の創出、強化について、本当に結果が出るかよく見極めずに実施すると実施の負担だけが増え結果が出ないことになる。記述に関しては吟味していただきたい。</p>	<p>「行政改革大綱」に記載すべき事項と、「行動計画」に記載すべき事項を整理し、実施の可能性も考慮した記載に変更します。</p>
6	<p>《歳入増につながる施策の創出、強化》 経費のかかる取組の記載が多いが、取り組んだことで、歳出より歳入の方が大きくならなければならないし、記述の仕方は考える必要がある。 6次産業化など、具体的な取組の記載は見直す必要がある。</p>	
7	<p>《推進手法》 推進体制の記述の中で、市議会や外郭団体に対して効率的な運営などを要請するのはなじまない。</p>	<p>ご指摘のとおり、推進体制の中に市議会、外郭団体を含めるのではなく、進行管理のところに、「市議会との連携を密にする」との記載を追加しました。</p>